

# 平成20年度予算を可決

市議会3月定例会が3月4日に招集され、21日までの18日間の会期で開かれました。上程された議案は、平成20年度一般会計予算および各特別会計予算、市議会議員や非常勤特別職の報酬の改正など50件です。49件は原案のとおり可決され、1件が修正可決されました。

また、市議会議員の定数を定める条例（現24人を20人に）の制定案が議員提出議案として上程され、可決されました。

## 一般会計予算

**\*平成20年度の予算編成方針**  
「にかほ市行財政改革大綱」「集中改革プラン」に基づいた行財政改革に引き続き取り組みながら、昨年4月よりスタートした「にかほ市総合発展計画」に基づき、地域の均衡ある発展と住民福祉の向上を図り、計画に盛り込まれた諸施策を確実に推進するために、効率かつ効果的な予算配分を行いました。

20年度の財政見通しは、国の財政支援策である「地方再生対策費」が新たに配分されることになったものの、市税収入の伸びの鈍化や後期高齢者医療制度の創設など、社会保障経費の自然増に加え、公債費も高水準にあることなどから、引き続き厳しい財政運営になるものと見込まれています。

更なる行財政改革の推進と事務事業の見直しによる歳出の抑制と重点化を進めるとともに公債費負担の軽減を図るため、計画的な繰上償還を実施するなど、将来にわたり持続可能な財政運営の確立に努めます。

このため、予算編成にあたっては、徹底した経常経費の削減と事務事業の「集中と選択」を図りながら、総合発展計画に基づく重点施策を着実に推進するため、高齢者福祉、子育て支援、産業振興、教育施設整備、生活環境整備などに所要の予算を配分し、メリハリのある予算編成を行いました。

- \*平成20年度の主な事業**
- ・ 仁賀保統合中学校建設工事費 6億円
  - ・ 公営住宅建設工事費 2億円

## 新年度に臨む 市政運営の基本方針

### \*安心して暮らせる福祉のまちづくり

生涯にわたる健康づくりを進めるために「健康にかほ21計画」に基づき、各種健康診査・予防接種・健康教育・健康相談など各事業の充実を図り、総合的な健康づくりに取り組みます。また、職員の削減計画が進む中で、20年度においては、保健師2名、臨床検査技師1名の新規採用を行い、人事面からも保健・医療分野の充実を図っています。

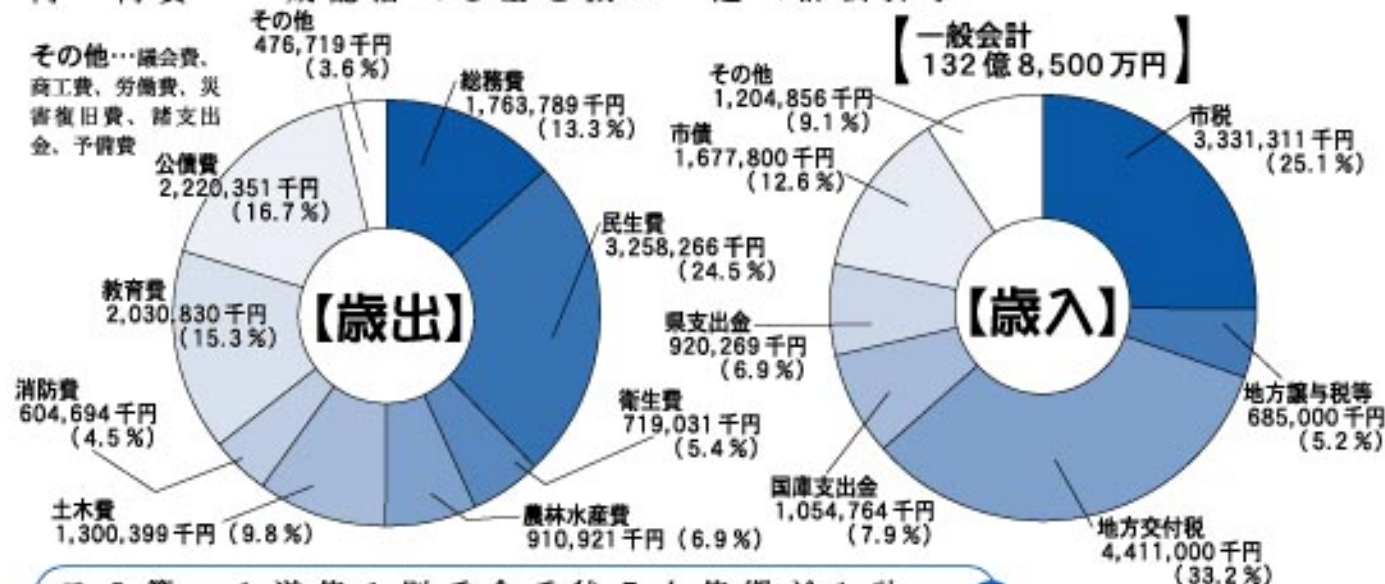
総合的な福祉サービスの充実については、「にかほ市地域福祉計画」に基づき、障がい者自立支援・地域生活支援・母子自立支援などの各事業を実施し、要支援者の支援に積極的に取り組みます。

なお、心身障がい児・発達障がい児の早期発見、早期支援を行うために新たに支援方針を定めました。20年度からは、この方針に基づいて具体的な事業を展開していきます。関係者が障がいに対する共通認識を持ち、

早期発見と発見後の包括的な支援体制を構築するため、「ネットワーク会議の設置」や「保健師などによるカンファレンスの充実」「関係者に対する研修会の開催」「集団訓練・親子教室の開催」などを計画しています。

### \*自然豊かで住みよいまちづくり

計画的なまちづくりを進めるうえで、さまざまな事業の立案や実施に必要な1万分の1の管内図と2、500分の1の都市計画図をデジタル化して作成を行います。また、地図情報をコンピュータ上で管理し、必要な場所や地域を任意の縮尺で図化ができるようになります。また、金浦地域のまちづくり交付金事業については、県のヒアリングを経て、国に事業採択



## 各特別会計予算

国民健康保険事業特別会計は、事業勘定が30億3,170万1千円、施設勘定が9,864万4千円、後期高齢者医療特別会計が2億5,476万3千円、老人保健特別会計が2億6,743万8千円、簡易水道特別会計が6,218万3千円、公共下水道事業特別会計が17億8,893万7千円、農業集落排水事業特別会計が4億2,888万1千円、ガス事業会計が7億9,006万5千円、水道事業会計が10億6,801万7千円です。

一般会計を含めた市の予算総額は210億7,562万9千円で新年度事業がスタートします。

地方譲与税等…地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金  
その他…分担金および負担金、使用料および手数料、財産収入、寄附金、諸収入、繰入金、繰越金

の申請を行いました。計画内容の審査では、事業の名称や事業の分離・合併などの指摘や指示があったものの、計画している15事業の計画内容に大きな変更はありませんでした。また、市民1,500人を対象に行った「事前評価アンケート調査」では、「事業効果が期待できる」との回答が52.6%でした。この計画は24年度までの5力年ですが、新年度予算には測量設計業務委託料を計上しました。

快適な生活環境づくりでは、「松ヶ丘団地公営住宅」の建設を行います。鉄筋コンクリート造り2階建、2LDK6戸、1LDK6戸の1棟を建設するもので、これにより松ヶ丘団地公営住宅は7棟102戸となり、この事業の実施により、松ヶ丘団地の全体計画が完了します。災害に強いまちづくりでは、「にかほ市地域防災計画」に基づき、地域住民の生命・身体・財産を守るための施策を計画的に進めていきます。また、市内の全世帯を対象とした「住宅耐震診断アンケート調査」を実施し、結果をもとに住宅の耐震補強に対する支援策を検討します。また、防災対策により強力に取

り組むため、防災を担当する専任部署の創設を検討しています。

**\*人と文化を育むまちづくり**  
仁賀保統合中学校の建設事業費として、体育館の建設工事費などの20年度事業分の予算を計上しました。

社会教育・体育施設の整備では、フェライト子ども科学館施設整備や仁賀保勤労青少年ホーム施設整備、象潟野球場整備、仁賀保運動公園芝生の維持管理などを行います。

文化財保護整備事業では、天然記念物「象潟」の買い上げを引き続き実施するほか、「全国奥の細道サミット」が、にかほ市では初めて開催されます。



元気の農業の担い手を